

# 全国学力・学習状況調査について

## 1. 調査の目的

- 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

## 2. 調査実施日

平成31年4月18日（木）

## 3. 調査の対象

泉佐野市立北中小学校 第6学年，全児童

実施児童数（ 60人 ）

## 4. 調査の内容

### (1) 学力に関する調査

ア 教科は、小学校は国語及び算数，中学校は国語，数学及び英語。

イ 出題範囲は，調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし，出題内容は，それぞれの学年・教科に関し，知識・技能に関する内容と，それらを活用する力や構想を立てて実践し評価・改善する力などに関する内容とする。

ウ 出題形式については，国語及び算数・数学においては，選択式及び短答式に加え，記述式の問題とする。英語においては，選択式，短答式及び記述式の問題に加え，「話すこと」に関する問題の解答は，原則として口頭式によるものとする。

### (2) 学習状況に関する調査

調査する学年の児童生徒を対象に，学習意欲，学習方法，学習環境，生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施する。

### (3) 学校の取組みに関する調査

調査対象の児童生徒が在籍する学校を対象に，学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査を実施する。

※平成29年度より，文部科学省から示される都道府県の平均正答率及び市町村の平均正答率は，整数となっております。

## 平成31年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

### 1. 全体の傾向

- ・ 高得点の児童が少なく、得点分布のグラフが全国、大阪府より低得点寄りになっている。
- ・ 特に、【書くこと】【伝統的な言語文化と国語の特徴に関する事項】の課題が顕著である。

平均正答率（本校 45／泉佐野市 59／大阪府 60／全国 63.8）

### 2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語	特徴がみられた設問
<p>【話すこと・聞くこと】</p> <p>○話し手の意図をとらえながら聞き、その中で印象に残ったことをまとめることに課題がある。質問者が工夫して聞いていると感じとれていない。</p> <p>③二 質問をする時の工夫として適切なものを選ぶ。 (49.2/67.4)</p> <p>三 豊職人の仕事への思いや考えの中で、特に心に残ったことをまとめる。 (49.2/68.2)</p> <p>【書くこと】</p> <p>○資料を用いて書くことの良さを感じとることができにくく、良さを選択肢の中から選ぶことができていない。＜資料1＞＜資料2＞など、資料の番号や問題を適切に読み取れているかも疑問である。</p> <p>また、自分の考えをまとめて書くことにも課題があり、まとまりのない文になってしまっている。</p> <p>①一 資料を用いる目的を選択する。(45.9/71.2)</p> <p>三 調査の内容と結果をもとに、考えをまとめて書く。(8.2/28.8)</p>	<p>【読むこと】</p> <p>○文章の内容をとらえながら読み、まとめることに課題がある。問われている部分を抜き出し、適切な形にかえて書くことが難しい。</p> <p>また、目次から自分が必要な情報がどこに書かれているかも探せていない。目次から検索して情報を得る経験が乏しいと考えられる。</p> <p>②一（2）昔の人が食べ物を保存する理由についてまとめる。(59.0/75.9)</p> <p>二 必要な情報が書かれているページを目次から選択する。(73.8/88.5)</p> <p>【伝統的な言語文化と国語の特徴に関する事項】</p> <p>○語彙力が少なく、ひらがなを漢字に変換できない、ことわざを知らない児童が多い。ことわざの意味が書いてあっても、それを文章に当てはめて読み、正解を探すこともできていない。</p> <p>それが、言葉の意味をとらえながら読むことの困難さにつながっていると考えられる。</p> <p>①四 文章中のひらがなを漢字に直す。(ア 45.9/71.2 イ 36.1/69.4 ウ 14.8/35.6)</p> <p>③四 ことわざを正しく使った例文を選ぶ。(52.5/73.0)</p>

### 3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか。	70.5	64.2	◇	6.3
国語の勉強は大切だと思いますか。	100	93.0	◇	7.0
国語の授業の内容はよく分かりますか。	91.8	84.9	◇	6.9
国語の授業で学習したことは将来社会に出たときに役に立つと思いますか。	96.8	91.2	◇	5.6

国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしていますか。	81.9	76.9	◇	5.0
国語の授業で文章や資料を読むとき、目的に応じて、必要な語や文を見つけたり、文章や段落どうしのか関係を考えたりしながら読んでいますか。	83.6	71.4	○	12.2

○問題を読み、答えやすいところから解答していないため、最後の問題までたどりつけなかった児童が何人もいる。選択肢の問題が無答の割合も高く、1問でも多く答えようという意識が低い児童も多いと考えられる。どんな問題かをとらえ、どこから解こうかイメージしながら問題を解く経験が必要である。

○文章や問題の内容を、意味を考えながら読みとっていないため、ヒントになる部分を見つけられずに選択肢の中から正答を見つけることができていると考えられる。大事な言葉を抜きとれるような読み方をできるようにする必要がある。

○文章を要約することが難しい児童が多いので、記述する問題でまとめて書くことができない。読んだことをもとに自分の感想を書いたり、内容の一部をそのまま写してまとめられなかったりして誤答となっている。文章をまとまりとしてとらえ、要約する練習が必要である。

○語彙力が乏しいため、文章の内容を読みとれていない児童が多くいる。読書が好きでないと答えた子が45.3%いるため、文章を読むことへの苦手意識が語彙力や読解力にも結びつきにくい一因だと考えられる。いろいろな文章に触れる機会を増やすことと、内容をとらえながら読み、初見の文章を読みとる力をつける必要がある。

○漢字の学習をする際に、様々な例文に触れることが少ないのではないかと考えられる。覚えた漢字がどのように使われているかを意識しながら学習する必要がある。また、ノートや作文を書くときに、既習の漢字を使っているかにもこだわり、ふりかえりの観点とすることも必要だと考えられる。

## 平成31年度全国学力・学習状況調査の分析（算数）

### 1. 全体の傾向

- ・平均正答率は、全国と比べて9.6%低い。特に「量と測定」は37.7%で、全国平均と比較して14.3%と大きく下回っている。また「数と計算」は52.7%と全国平均を比較して、10.7%と下回っている。

平均正答率（本校 57／泉佐野市 65／大阪府 66／全国 66.6）

### 2. 学力状況調査より（本校正答率／全国正答率）

算数	特徴がみられた設問
<p><b>【数と計算】</b></p> <p>○ 四則計算の順序を理解していない。また、示された場面において、複数の数量から必要な数量を選ぶことに課題がある。</p> <p>② (4) <math>6+0.2 \times 2</math>を計算する。 (42.6／60.1)</p> <p>④ (2) 示された場面から、必要な数量を選び、立式する。</p> <p><b>【量と測定】</b></p> <p>○ 示された図形や式から、求め方を説明する問題や二つの資料の特徴や傾向を読み取り、その理由を記述する問題に課題がある。また、文章題の内容をとらえながら読み、答えを求めるのにどの情報が必要かを選ぶことができていない。</p> <p>② (2) 資料の特徴を関連付けて、一人当たりの水の量の増減を判断し、その理由を記述する。 (39.3／52.1)</p> <p>④ (3) 進むのにかかる時間の求め方と答えを記述する。 (41.0／62.9)</p>	<p><b>【図形】</b></p> <p>○ 台形などの図形については理解しているが、図形の性質や構成要素に着目し、他の図形を構成することに課題がある。</p> <p>① (1) 長方形を直線で切ってできた図形の中から、台形を選ぶ。 (96.7／93.1)</p> <p>(2) 二つの合同な台形を、同じ長さの辺どうしを合わせて作ることができる形を選ぶ。 (55.7／60.3)</p> <p><b>【数量関係】</b></p> <p>○ 棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることは概ねできている。しかし、読み取った内容を使って、考えたり、理由を記述したりすることに課題がある。</p> <p>② (1) 棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることができる。 (93.4／95.2)</p> <p>(3) 資料の特徴を関連付けて、一人当たりの水の量の増減を判断し、その理由を記述する。 (39.3／52.1)</p>

### 3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
算数の勉強は好きですか。	75.4	68.6	◇	7.1
算数の勉強は大切だと思いますか。	98.4	93.0	◇	5.4
算数の授業の内容はよく分かりますか。	91.9	84.8	◇	7.1
算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか。	83.6	76.5	◇	7.1
算数の授業で新しい問題に出会ったとき、それを解いてみたいと思いますか。	93.5	79.1	○	14.4
解答時間は十分でしたか。(算数)	77.0	84.0	◇	7.0

- 算数に対して意欲的であり、関心を持っている児童は多い。また、「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」と答えた児童は80%で、問題に対しても意欲的である。  
学習意欲が高いので、その意欲を維持していくために「様々な問題に取り組み、正しく解く」という成功体験を増やしたい。
- 質問項目「解答時間は十分でしたか」に対して、肯定的な回答は77%であるにも関わらず、平均正答率は低い傾向にあった。また、「解答時間が全く足りなかった」と回答した児童はおらず、問題を意欲的に解いているが、正答には繋がらない結果となった。
- 四則計算の問題の正答率が低い結果から、加減と乗除が混じっている計算に触れることが少ないと考えられる。授業で計算の順序を意識させるだけでなく、朝の学習などで年間を通して継続的に学習する必要がある。
- 文章量が多い問題や記述式の問題に苦手意識があることから、授業や朝の学習で記述式や文章題の内容をとらえながら読み、答えを求めるのにどの情報が必要かを選ぶような問題に取り組みせたい。

平成31年度全国学力・学習状況調査の分析（児童質問紙より）

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択（31問）で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（例えば、1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない）

また、それ以外の質問（5問）は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものを列挙した。また、下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きく特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校 < 本校回答率 / 全国回答率 >
【自分自身について】	○朝食を毎日食べている割合は、全国を下回っている。	○朝食を毎日食べていますか <div style="text-align: right;">&lt;88.6/95.3&gt;</div>
	○自分には、よいところがあると思う割合は、全国を下回っている。	○自分には、よいところがあると思いますか <div style="text-align: right;"><u>&lt;62.3/81.2&gt;</u></div>
	○難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している割合は、全国を上回っている。	○難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか <div style="text-align: right;">&lt;86.9/79.0&gt;</div>
	○人が困っているときは、進んで助けている割合は、全国を下回っている。	○人が困っているときは、進んで助けていますか <div style="text-align: right;">&lt;80.3/87.9&gt;</div>
	○外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う割合は、全国を上回っている。	○外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思っていますか <div style="text-align: right;"><u>&lt;82.0/68.6&gt;</u></div>
	○日本やあなたの住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思う割合は、全国を上回っている。	○日本やあなたの住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか <div style="text-align: right;">&lt;81.9/76.1&gt;</div>

<p>【家庭生活の様子】</p>	<p>○毎日、同じくらいの時刻に寝ている割合は、全国を下回っている。</p> <p>○家の人と学校での出来事について話をする割合は、全国を下回っている。</p> <p>○新聞を読まない割合は、全国を上回っている。</p> <p>○地域の行事に参加している割合は、全国を下回っている。</p>	<p>○毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか  <math>&lt;72.1/81.4&gt;</math></p> <p>○家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか  <math>&lt;67.2/77.4&gt;</math></p> <p>○新聞を読んでいますか          ほとんど、または、全く読まない  <math>&lt;67.2/61.4&gt;</math></p> <p>○今住んでいる地域の行事に参加していますか  <math>&lt;52.5/68.0&gt;</math></p>
<p>【家庭学習の様子】</p>	<p>○家で自分で計画を立てて勉強をしている割合は、全国を下回っている。</p> <p>○1日当たりの読書を全くしない割合は、全国を上回っている。</p> <p>○学校図書館・学校図書室や地域の図書館に行かない割合は、全国を上回っている。</p> <p>○読書が好きだと感じている割合は、全国を下回っている。</p>	<p>○家で自分で計画を立てて勉強をしていますか  <math>&lt;64.0/71.5&gt;</math></p> <p>○学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を行いますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）          全くしない<math>&lt;24.6/18.7&gt;</math></p> <p>○昼休みや放課後、学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか          年に数回程度行く＋ほとんど、または、全く行かない  <math>&lt;65.6/59.3&gt;</math></p> <p>○読書は好きですか  <math>&lt;55.7/75.0&gt;</math></p>
<p>【学校での学習の様子】</p>	<p>○先生は、授業やテストで間違いえたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う割合は、全国を上回っている。</p> <p>○授業でICTを使用している頻度は、全国を下回っている。</p>	<p>○先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか  <math>&lt;100/91.7&gt;</math></p> <p>○5年生までに受けた授業で、コンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか          週1回以上<math>&lt;21.4/30.6&gt;</math></p>



## 本校の取組み

### ◎これまでの取組み

【自ら考え共に学び合う体験的な活動（授業）を通して、コミュニケーション豊かにつながる子どもの育成を目指すための取組み】

#### （1）言語活動・コミュニケーション活動の充実

① 全ての授業で「聴く」「表現する」活動を工夫し、相手の思いや考えを能動的に理解しようとする、積極的に自分の思いや考えをわかりやすく伝えようとする態度を育む。

・読み聴かせ活動 ・聴き方「あいうえお」 ・ペア学習及びグループワーク  
・話し方「かきくけこ」 ・伝わりやすい書き方ワーク ・プレゼンテーション 等

② 人と関わる楽しさを感じることや、他者との出会いを積極的に取り入れる。

・交流活動 ・人と関わる体験的な学び ・まなびんぐスクール 等

#### （2）体験的な学びを通して、信頼感や安心感であふれる集団づくり

① 目標に向かって集団活動を企画・運営する。

・共有できるルールづくり ・チームとしての活動づくり 等

② 自分を振り返る機会を習慣づける。

・振り返りジャーナルや日記 等

③ 本音を語り合え、心情を共有する関係づくり。

・相互に伝え合い聴き合うオープンクエスチョンワーク 等

④ 人間関係の実態把握を進める。

・集団生活のアンケート調査と内面把握の個別の相談活動

#### （3）自力解決の力を育てる生活や授業での学び

① 自己選択と自己決定を積み重ねるしかけを組み込む。

② 基礎基本の習熟を図ると共に、活用力を高める。

③ トラブルの解決のために、全学年がセカンドステップに取り組む。

#### 【基礎基本の定着のための取組み】

（1）学力向上の一環として、基礎・基本の習熟と活用能力を高めることを目標に、習熟度別指導を中心に取り組む。

（2）朝学習を充実させ、漢字や計算の力をつける。

（3）研究授業や校内研修を計画的に行い、積極的な意見交換により個々の授業力向上を目指す。

### ◎これからの取組み

#### 【基礎基本の定着】

##### （1）漢字の定着

（授業に既習漢字を使う・フラッシュカード練習・既習漢字の定期的確認・同音異義語・熟語の学習）

（2）読解力の向上（メモを取る・あらすじを書く・接続語の学習等）

（3）力だめしプリントを有効活用し問題の出方に慣れさせ、読み書き計算の習得に力を入れる。

（4）算数の定期的な確認テストを行う。

（5）反復学習による基礎基本の習熟に力を入れる。

（6）図書室を整備し、読書活動を充実させていく。

（7）休憩時間や放課後の時間での個別の補充学習を充実させていく。

#### 【授業改善による授業内容の向上】

（1）授業力向上のため、研究部を中心として授業改善に取り組む。

（2）授業改善専任の教員を配置し、教員の授業力向上を行う。

（3）研究授業及び研究討議の内容を充実させ、授業力の向上を目指す。

（4）公開授業を積極的に行う。積極的に他の授業を見学する。

（5）少人数・習熟度別学習を効果的に利用し学力アップにつなげていく。

（6）学習支援サポーターを活用し、個別の支援を充実する。

**【家庭との連携】**

- (1) 朝食の重要性, テレビ・ゲームの悪影響を訴え, 家庭との連携を深める。
- (2) 北中ばっちりウィークを活用し, 家庭での学習状況を充実させ, 保護者の意識向上に努める。
- (3) 宿題の取り組み方について家庭との連携を深める。
- (4) 学校だより・学年だより・学校ホームページ等を通じて積極的な情報発信を行う。

**【落ち着いた学習環境】**

- (1) セカンドステップの取り組みを続け, 感情のコントロールを身につけさせる。
- (2) ふわふわ言葉の取り組みを続け, あたたかく落ち着いた学習環境を構築する。
- (3) 教室の掲示物等はユニバーサルデザインを意識し, 学習環境を整える。
- (4) スクールカウンセラー・SSW サポーターを活用し, 心のケアに努める。
- (5) 三中校区で実践している立腰を授業の初めに行い, 学習に前向きな姿勢をつくる。